

報告書（案）に関する各委員からのご意見とその対応

「とやまの森の現状と課題」に関すること

ページ	意見の内容	対応
P 1 下から 2 行目	「とやまの森が蓄え育んだ豊かな水は、本県の米づくりを支えているのです。」の記述は、「他県が水不足に悩むことがあっても、とやまの森が蓄え育んだ豊かな水は、本県の米づくりを不安なく支えてきました。」の方がよいのでは？	ご意見のとおり、本県は他県と比べ水が豊富で、水不足に悩むことも格段に少なかったと思われますが、本県においても、水不足の経験は皆無ではありません。 このことから、ご意見の表現は控えさせていただきたいと考えています。
P 2 2 行目	「魚介類が1年を通じて水揚げ」とあるが、ホタルイカ、シロエビ、ブリの例示があり、いずれも季節のものである。誤解を与えないような表現がよいのでは？	ご意見のとおり、誤解を招きやすい表現であると思われますので、「魚介類が <u>季節に応じて水揚げ</u> 」に修正しました。
P 3 下から 5 行目	「拡大速度も速いことから、他の植物が生育しにくく…」の記述は、「拡大速度も速く、枯死したりギャップができることもなく、他の植物が生育しにくく…」の方がよいのでは？	竹は、地上部が枯死しても、地下茎は生き続け、そこから新しい竹を生み続けることから、ギャップ（空間）の発生は少ないと考えられますので、ご意見の趣旨を踏まえ、「拡大速度も速く、 <u>他の植物が生育する新たな空間が発生しにくい状況と…</u> 」の記述に修正します。

「県民全体で支える森づくりの具体的な推進方策」に関すること

ページ	意見の内容	対応
P 1 0 下から 10 行目	「林道事業」を「林道、作業道事業」とした方がよいのでは？	ご意見のとおり、作業道は、森林整備のためには必要であると考えています。 作業道は、現行施策では森林整備事業に位置づけており、P29 の 8 行目「森林施業と一体となった作業道を整備するなど…」と記述しています。
P 1 6	気運を高める取組みとして、大所高所からの意見をいただく有識者会議がどのように効果があるのか想像できません。疑問です。 むしろ、既成概念にとらわれない斬新なアイデアで県民を巻き込む「アイデア会議」のような実践的なサブ会議のようなものが望ましいと思います。	ご意見の趣旨を踏まえ、サポートセンターや森づくり協働会議など実務に即した組織において、県民からの意見をより取り入れていきたいと考えています。 さらに、県内各界各層の代表者や有識者から、森づくりについての意見をいただく仕組みを考えていきたいと思います。
P 1 7 3 行目	【具体的な取組み】に「・学校や教育機関と連携した…」とありますが、「・学校や教育機関、NPOなどと連携した…」とNPOを入れた方がよいと思います。森林環境教育は学校に特化することなく、民間でも共に進めるべきであり、民間の指導者も活用したり、育成したりする必要があります。	ご意見のとおり、民間の指導者を活用することは必要と考えられることから、この趣旨を踏まえ、より具体的な例示として「 <u>森林インストラクターなど</u> 」の記述を追加しました。
P 1 7 3 行目	小学校高学年で行う県少年の家などでの宿泊学習の際に、森林ボランティアの手を借りて天然林の良さや人工林の問題点などを現場で教えるような取組みは出来ないものか、検討して頂きたい。	ご意見の取組みは、森林環境教育の推進に有効であると考えられることから、P17 の 4 行目に、この趣旨を踏まえた「 <u>…森林環境教育の指導者の育成やカリキュラムの充実。</u> 」の記述を追加しました。

P 1 8 5 行目	県民に幅広く情報を提供する意味でも、良い森林と悪い森林の両方を見るような普及・広報活動が必要なのではないか？	ご意見の視点による普及・広報活動も必要と考えられることから、この趣旨を踏まえ、P18の5行目に「・森林の現状の体感や森づくりを…」の記述を追加しました。
P 1 8	イベントは労力がかかる割に参加者が少ないなど効果に疑問がある。P R イベントは極力控えてほしいと思っている。	ご意見の趣旨を踏まえ、イベントの例示を限定しました。
P 2 0 2 行目	具体的な取組みの中の「里山整備の促進」については「クマとの棲み分け」より「種の多様性の確保」の観点での項目が必要でないか？	ご意見の趣旨を踏まえ、種の多様性の確保の観点で、「クマとの棲み分けのための…」から「森林環境の保全のための…」の記述に修正しました。
P 3 0 5 行目	「間伐材を利用した学校用木製机」の記述は、「間伐材を活かした学校用木製机」の方がよいのでは？	この取組みは、間伐材の利用を推進するとともに、その良さをアピールする目的で行っており、「利用した」よりも「活かした」の表現が適当と考えられることから、ご意見の表現に修正しました。

「森づくりに必要な新たな財源の確保方策」に関すること

ページ	意見の内容	対 応
P 4 0 下から 2 行目	資料でも「森づくり」という表現が多く用いられていることから「森づくり」を使った名称が良いのでは？	ご意見の趣旨や「とやま水と緑の森づくり検討委員会」の名称を踏まえ、「水と緑の森づくり税（仮称）」としました。

「その他」のご意見

ページ	意見の内容	対 応
使途 全体	「森林の公益的機能」と「生物多様性の保全」は、別に扱うべきと考えているが、県としては、森林の公益的機能の中に生物多様性の保全を含めた整理をされたものと理解することにする。 生物多様性の保全については、今後施策を進める中できちんと普及啓発されることを期待する。	ご意見のとおり、「生物多様性の保全」は森林の重要な役割と考えています。 今後、このことが県民に理解されるような取組みと、この働きを保全する取組みを積極的に進めていきます。

「森づくりに関する条例に盛り込むべき項目」、「まとめ」、「資料」に関するご意見はありませんでした。